



「南海トラフでの巨大地震に備える」



むろさき よしてる

講師： **室崎 益輝** 関西学院大学 総合政策学部 教授

(専門：都市減災戦略、防火避難計画、防犯環境設計)

1944年生まれ。69年、京都大学大学院修了。95年の阪神・淡路大震災のときは神戸大教授として、地域の被害状況や防災対策について調査した。消防庁消防研究センター所長を経て2008年から現職。東日本大震災の被災地にも足を運び、被災地と政府や行政を繋ぐ復興支援を目指す。日本災害復興学会会長も務める。

今後30年の間に、南海トラフを震源とする巨大地震が発生する確率は極めて高い。東日本大震災の教訓に学ぶならば、最悪のケースをも想定して今からしっかりとその備えを講じることが欠かせない。とはいえ、地震発生数分間のうちに、20メートルを超える巨大津波が来るといわれると、恐怖感や絶望感が先行してしまい、どう備えればよいのか正しい答えを見いだせなくなっている。そこで、「悲観的に想定して楽観的に備える」という減災の原点に立ち戻って、巨大地震あるいは巨大津波にどう備えるかを考えてみることにする。絶望の中から希望を見出す知恵と勇気が今ほど求められている時はない。

■日時： 2012年 **10月16日(火)** 14:00～15:30 (受付開始13:30～)

■場所： 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1405教室
(〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アブローズタワー14F)

■定員： **80名 (先着順)** ※座席に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

■お申し込み方法： ホームページもしくはFAXにてお申し込みください。
受付が完了次第、事務局よりお申込番号をお送りいたします。

■ホームページからのお申込方法

大阪梅田キャンパスHP (http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/)「講座・講演会(梅田講演会)」ページへアクセスいただき、申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

■FAXでのお申込方法

氏名、ふりがな、〒・住所、TEL・FAX、E-mailアドレス、卒業生の方は卒業年・学部、希望講演会日を明記の上、大阪梅田キャンパス宛(FAX:06-6485-5612)にお申し込みください。

■お問合せ先： 関西学院大学大阪梅田キャンパス事務局

TEL: 06-6485-5611 E-mail: kghub@kwansei.ac.jp

【主催】 関西学院同窓会西日本センター、関西学院大学大阪梅田キャンパス



【個人情報の取り扱いについて】

講演会お申し込みにあたり、お知らせいただいた個人情報は、来場者の統計的分析や今後関西学院大学大阪梅田キャンパスからのお知らせを送り出す際にのみ利用いたします。もし、こちらからのお知らせが御不要な方はその旨ご連絡下さい。